

泉先生は、教室のドアが閉まっていることをたしかめてから、窓をあけました。  
ノロウイルスがろうかへ飛散して、他の教室が汚染されるのを防ぐためです。



吐いた児童が来ていた上着はビニール袋に入れて、しっかりとむすびます。

このまま、家庭に持ち帰ることになります。  
塩素に浸すことができないときは85度以上のお湯に入れて消毒しましょう。

吐いた児童はいったん教室の後ろへ行きます。  
「ちょっと待ってね」

次は周りの子ども達を移動させなくてはいけません。  
そこで、先生たちは…



新聞紙の上に消毒薬を浸して、その上を歩かせた後、子ども達を別の場所（今回は教室の前方）へ移動させました。

使い終わった新聞紙は汚れた面を内側にしてゴミ袋に入れます。



子ども達の座っていた  
いすを消毒します。

子どもがいなくなった所で  
吐物の処理を始めます。

新聞紙をさらに広く覆い、  
消毒薬をもう一度かけて  
いきます。



吐物をふき取っていきます。  
外側から、内側へ向かって  
ふき取ります。



てきぱきてきぱき

たくさんの新聞紙でふきとって  
いきました。

さささっ



吐物の処理が終わったら、まず足袋をとりましょう。スリッパまで脱がなくてもいいんですが…ご愛嬌です。



手袋は汚れた面を触らないようにこんな感じで、はずします。汚れていないのは「耳よりも後ろ」と覚えておきましょう。



全ての汚れものを入れたゴミ袋には、最後に消毒薬を入れます。どぼどぼどぼ…



これで吐物処理は終了です



本日のオールスターキャスト

戸田さん、泉さん、伊藤さん、竹内さん  
本日はどうもありがとうございました。



みなさん、お疲れさまでした!